

※日本国際政治学会の会員のみなさまに関連のある箇所のみ抜粋です。(広報委員会)

=====
** 日本学術会議ニュース・メール ** No. 919 ** 2025/4/25
=====

- 【開催案内】公開シンポジウム「第30回史料保存利用問題シンポジウム
「危機にある「戦争関連資料」-歴史的文化遺産として残すために-」
- 【開催案内】共同主催国際会議「第23回世界災害救急医学会」

■-----
【開催案内】公開シンポジウム「第30回史料保存利用問題シンポジウム
「危機にある「戦争関連資料」-歴史的文化遺産として残すために-」
-----■

【主催】日本歴史学協会、日本学術会議史学委員会、日本学術会議史学委員会アーカイブズと
社会に関する分科会

【後援】全国歴史資料保存利用機関連絡協議会、日本アーカイブズ学会、日本考古学協会

【日時】2025年6月28日(土)13:30~17:30

【場所】一橋大学東2号館2201室(オンライン併用)

【参加費】無料

【定員】とくになし

【事前申込み】オンライン参加者は要事前申込、会場来場者は事前申込不要

<https://keio-univ.zoom.us/meeting/register/npQjt6KTTsuu7kOkOFfLMg>

【開催趣旨】

2025年は日本の終戦から80年を迎える節目の年にあたる。この間に戦争体験者はきわめて少数となり、関係者が遺した記録や遺品・遺物の散逸や、関係した遺構・遺跡等が消滅しかねないことが危惧されている。

「戦争関連資料」には、行政文書をはじめ、個人の体験を記録した日記や手紙のほか、写真・映像・絵画・記念碑・慰霊碑等の多岐にわたるアーカイブズがあり、「語り部」による「証言記録」オーラル・ヒストリーも含まれるが、現状ではそれらの収集・保存・公開が、関係機関において整備されているとはいえない状況にある。

一方で近年は、旧日本軍の軍事施設等が戦争遺跡として注目され、全国各地で文化財に指定する動きや、自治体が都市空襲についての調査委員会を立ち上げ、市民を中心とした空襲の調査研究活動から資料館建設に至ったケースも見られるなど、戦争の記憶を風化させないための新たな動きも始まっている。

このような趣旨のもとに、別添の各報告をお願いした。これらの報告と、パネルディスカッションでの議論を通して、危機にある「戦争関連資料」を歴史的文化遺産として残すためにいま何が必要なのかについて議論し、問題提起としたい。

【プログラム】<https://www.scj.go.jp/ja/event/2025/383-s-0628.html>

【問い合わせ先】

日本歴史学協会史料保存利用特別委員会委員長 新井浩文

メールアドレス:CQX06173(a)nifty.com

※送信の際には(a)を@に置き換えてください

【開催案内】共同主催国際会議「第23回世界災害救急医学会」

会 期:令和7年5月2日(金)～5月6日(火)[5日間]

場 所:京王プラザホテル(東京都新宿区)

日本学術会議と第23回世界災害救急医学会組織委員会が共同主催する「第23回世界災害救急医学会」が、5月2日(金)より、京王プラザホテルで開催されます。

本国際会議では、「VUCA時代のガバナンス:叡智、勇気、連帯の力で強くしなやかな災害保健医療システムをめざして」をメインテーマに、災害対応をはじめ、公衆衛生施策、健康危機管理等の世界レベルでの向上と各国間のより強い連携の構築を目的としています。26年ぶり2回目の日本開催となる本国際会議には、世界約60カ国・地域から約1,000名の参加者が集結する予定です。本国際会議を日本で開催することは、世界的に見ても秀でたわが国の災害医療に関する様々な知見や技術を、世界中の災害医療の専門家に紹介する貴重な機会にもなります。また、増え続ける自然災害や移民・難民の急増による被害の減少等、災害保健医療分野の進歩に大きく資するものと期待されます。

さらに、市民公開講座として、「こんなおもしろい仕事はあれへん——米国のプライマリーケア」、「カンボジアから世界へ～NPO法人あおぞらとエレコムが挑む新生児支援～」が5月5日(月・祝)に開催されます。世界を舞台に平時と緊急時の医療を支える2人の医師を招き、世界の医療の実情を学ぶ講座にします。関係者の皆様に周知いただくとともに、是非、御参加いただきますようお願いいたします。

第23回世界災害救急医学会 市民公開講座

日 時:令和7年(2025年)5月5日(月・祝)14:00□16:00

会 場:京王プラザホテル 南館44階「ハーモニー」

参加費:無料(定員150名・先着順・事前登録制)

講演内容:

「こんなおもしろい仕事はあれへん——米国のプライマリーケア」

森川 雅弘

(ヴァージニア大学家庭医学部教授、同大学メディカルセンター家庭医学外来・病棟主任)

「カンボジアから世界へ～NPO 法人あおぞらとエレコムが挑む新生児支援～」

葉田 甲太

(医師、認定 NPO 法人あおぞら理事長、エレコムヘルスケア株式会社取締役社長)

※内容等の詳細は以下のホームページをご参照ください。

○国際会議公式ホームページ(<https://wadem.org/congress/tokyo-2025/>)

○市民公開講座申込フォーム(<https://forms.office.com/r/wCjANRLu0x>)

【問合せ先】

日本コンベンションサービス株式会社(内)WADEM2025 運営事務局

TEL:03-3508-1214 FAX:03-3508-1302

E-mail:wadem2025(a)convention.co.jp

※送信の際には(a)を@に置き換えてください

日本学術会議 YouTube チャンネル

https://www.youtube.com/channel/UCV49_ycWmnfhNV2jgePY4Cw

日本学術会議公式X

https://twitter.com/scj_info

学術情報誌『学術の動向』最新号はこちらから

<http://jssf86.org/works1.html>

日本学術会議ニュースメールは転載は自由ですので、関係団体の学術誌等への転載や関係団体の構成員への転送等をしていただき、より多くの方にお読みいただけるようにお取り計らいください。

過去のメールニュースは、日本学術会議ホームページに掲載しております。

<https://www.scj.go.jp/ja/other/news/index.html>

【本メールに関するお問い合わせ】

本メールは、配信専用のアドレスで配信されており返信できません。

本メールに関するお問い合わせは、下記の URL に連絡先の記載がありますので、そちらからお願いいたします。

発行: 日本学術会議事務局 <https://www.scj.go.jp/>

〒106-8555 東京都港区六本木 7-22-34